

平成 29 年 6 月 12 日付【水道産業新聞】

＜水コン協第 34 回定時社員総会＞公益社団法人移行を承認

公益社団法人移行を承認

水コン協総会 魅力ある労働環境の構築へ

全国上下水道コンサル
タント協会（会長 野村
喜一・日本コンサル
タント協会は、8日、東京都千代田区のア
ルカディア市ヶ谷で第
34 回定時社員総会を開
き、平成 29 年度決算報告、
規則（倫理綱領）の改正、
公益社団法人への移行、
役員（理事）の改選につ
いて語り、承認を得た。
今後、30 年 4 月の公益法
人化を目指し認定申請手
続きを進める。

開会にあたり野村会長
は、「上下水道コンサル
タントの立ち位置は変化
してきている。さまざま
な課題への対応を図るた
め、法人形態について検
討してきたなかで、水
コン協の活動領域の拡大
と発展、会員の地位向上
を目指し、公益社団法人
への移行が必要との結論
に至った。準備を進める

ことにつき、議事でお語
りしたい」とあいさつし
た。

倫理綱領については、
業務遂行姿勢を「公正か
つ誠実な業務遂行」と改
め、他業種企業との連携
が必要となる多様な官民
協働にふさわしい表現に
した。また、より高次の
倫理観として「公共の福
祉の優先」「社会の持続
性の確保への貢献」を新
たに追加した。

公益社団法人として
は、「業界の発展」から、
「職業の発展」を目指し、
公共の福祉の増進に貢献
する上下水道コンサルタ
ントの健全な発展に必要
な環境整備と人材育成に
会員が主体的に取り組む
とともに、業務遂行にお
ける技術・倫理などの基



事業体との連携を強化



野村会長

盤確立と底上げを図ると
した。また、事業の上流
域を担うコンサルタント
の役割・責任を自覚し、
主導的な立場で関係者と
協議・連携を強化する。

29 年度事業では、協会
の中期行動計画に挙げた
「人材確保支援」、「技術・
品質・倫理向上支援」、
「多様な官民協働の促進」
に引き続き取り組む。特
に人材確保・育成に向け
た新たな取り組みとし
て、協会の要望・提案活
動のなかで、魅力ある労働
環境の構築への配慮を
求めていくことや、ノー
残業デーの協会統一キャ
ンペーンの実施を挙げ
た。また、水道事業にお
ける広域化の推進を前提
とした施設台帳の整備、
下水道事業におけるマネ

ジメントの推進など新た
し、事業体との連携を強
な業務の取り組みに関
化していくとしている。